



吉村真弓 議員

### ミストシャワーの設置について

**問** 学校の暑さ対策として、昇降口や渡り廊下にミストシャワーを設置することは、好例な取り組みであると考えます。水道水を微細な霧状にして噴射し、その気化熱で周辺の気温を2・3度下げることができません。明年に向け、広陵町の学校にも是非ミストシャワーを設置していただきたいと要望いたします。

**安田教育長** 学校においても、ミストシャワーを設置しているところがあるのは承知している。設置した自治体では、現在、その効果を検証中であり、設置後の管理が重要となる。引き続き研究する。

### 介護マークの作成について

**問** 現在では3人に1人が男性の介護者と言われており、トイレに付き添うときや、奥さんの下着を購入するときなどに誤解を持たれるケース

がある。広陵町においても、介護マークを作成し、少しでも介護する人を温かく見守る優しい社会を目指すべきと考えますがいかがでしょうか？

**平岡町長** 広陵町におきましても今後、広報、ホームページ等において周知と利用方法のPRを進めて参りますが、広陵町独自の「介護マーク」作成及び配付については、現段階では予定しておりません。

### 介護保険未利用者への保険料還元

**問** 健康を維持増進し、介護サービスを利用されていない方々からは、「何か恩恵があつてもいいのでは」とのお声が多く寄せられている。こうした意見に応えるべく何らかのインセンティブ(やりがい)が働くような制度は必要ではないでしょうか？

**平岡町長** 保険料を減免し、他に転嫁することは、助け合いの精神を否定する要因となり、本町においては、高齢者施策として敬老事業を継続し、70歳以上の方に敬老祝品を贈らせていただき、お喜びいただいているものと考えている。



山村美咲子 議員

### 通学路の安全対策の取り組みについて

**問** 公明党は、20年前から「通学路総点検」を提唱し、子どもたちの命を守るために全力で取り組んできた。5月に緊急提言を行った結果、全国に通知が発せられ、すべての公立小学校で緊急合同総点検を実施。8月末までに、取りまとめ報告をするように通達が出ている。広陵町の総点検結果及び今後の取り組みは？

**平岡町長** 「教育委員会・学校」、「警察」、「道路管理者」、「町」の4者で、7月31日と8月1日に町内の小学校の通学路の緊急点検を実施。対策が必要な箇所が、県関係で信号機や横断歩道の新設、通行規制の変更、歩車分離式の信号機など9箇所。町関係で「学童注意」「止まれ」などの路面標示、側線の延長、狭隘道路で車がゆっくり走る対策など26箇所ありました。今後は、子どもの安全を最優先し、県関係の箇所については、県と香芝警察署で検討していた

だき、その他の箇所については町で速やかに対応していく。

### 子どもが安心して学べる学校づくりのために

**問** 「いじめ」は大きな社会問題として関心が高まっている。「子どもが安心して学べる学校づくり」に向けて小中学校全校でピア・サポート活動に取り組み、いじめの認知件数、および不登校児童生徒数も減少してきている例がある。広陵町の取り組みは？

**安田教育長** 保護者との間においては、定期的及び随時に教育相談や懇談会を設けている。校内では、管理職や担任などで構成する組織により、生徒の特性や配慮事項について常に連絡調整を行い共通理解を図っており、また専門的な見地から「スクールカウンセラー」や「親と子の相談員」の指導もいただいている。ピア・サポート活動と同様の取り組みとして、ホームルーム活動や生徒会・学級会活動、部活動を通して、お互いを思いやる心を育むことができるよう教職員が継続的に指導を行っている。

